

# 九州圏広域地方計画に係る 有識者の意見について

令和8年4月28日

# 九州圏広域地方計画に係る有識者の意見について

第7回九州圏広域地方計画協議会以降に有識者会議を実施し、意見を反映した。

令和7年7月10日 第8回 九州圏広域地方計画有識者会議

|       | 要旨  | 対応   |
|-------|---|--|
| 道路    | 高速道路について、九州全体でミッシングリンクの解消に向けて取り組むことを強調するべきである。  | 第3章 圏域構造（社会資本）<br>⇒高規格道路等の現況について、未整備区間の解消を強調した表現に修正。   |
| エネルギー | 送配電網の強化も非常に大事で取り組みもなされているかと思うので、用語か視点等を入れるべきである。  | 第3章 圏域構造（社会資本）<br>⇒エネルギーインフラの現況について、送電網の現況を追記。   |
|       | 地熱・太陽光とあるが、蓄電池についても重要な要素なので入れるべきである。  | 第3章 圏域構造（社会資本）<br>⇒エネルギーインフラの現況について、系統用蓄電池の整備を追記。  |
| 交流    | 広域的な計画であるため、県境地域の活力を高めていく振興策や地域政策について、言及するべきである。  | 【PJ3】強みや特色をいかした持続可能な産業振興プロジェクト<br>第5節 観光アイランド九州の形成<br>⇒長崎県、熊本県、大分県が連携した新たな周遊ルートの確立など、県境を越えた広域観光事業について追記。                             |
| 観光    | 九州のインバウンド客が増えている要因に、クルーズセンターの整備によるものもあると思う。広域地方計画の中にクルーズセンターの存在を入れるべきである。   | 【PJ3】強みや特色をいかした持続可能な産業振興プロジェクト<br>第5節 観光アイランド九州の形成<br>2. 誘客と観光消費額の拡大を重視したインバウンドの推進<br>⇒クルーズセンターの整備を含めた表現として、クルーズターミナルが整備されていることを追記。  |
| 人材育成  | 「多様な人々の活躍の実現」について、多様な人材とは若者・女性・障がい者・専門人材・外国人等となっていて、次頁で女性の活躍に焦点を当てているが、外国人についても考えなくてはいけない。増加する外国人に対する対応についても、盛り込むべきである。 | 【PJ4】中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト<br>第3節 地域を支える多様な人材が活躍できる環境づくり<br>⇒外国人材への施策に関し、施策「4.外国人材の定着」を新たに作成し、社会保険や子育て等の相談窓口など、受入環境整備についてを記載。 |
| 防災    | 「災害に対する事前準備の促進」について、前半は脆弱性を提言し、危険な所からの移転の誘導、後半は被災した場合のより効率的な復興、という内容である。別のことを書いているので、分けて書くべきである。                        | 【PJ6】経験をいかした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト<br>⇒「7.災害に対する事前準備の促進」を<br>「7.災害に対する脆弱性への対応」と「8.平常時からの事前復興準備の促進」に分割して記載。                             |
|       | 道の駅は防災の拠点でもあり、広域的視点を持った道の駅同士での連携についても盛り込むべきである。   | 【PJ6】経験をいかした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト<br>第1節 地域の安全、安心、暮らしや経済を支える国土基盤の高質化・強靱化<br>5. 地域防災力の強化<br>⇒「道の駅」について、広域的な防災機能を追記。                    |